

# 農林水産委員会

## 委員一覧 (20名)

委員長	岩井 茂樹 (自民)	進藤 金日子 (自民)	田名部 匡代 (民進)
理事	中泉 松司 (自民)	野村 哲郎 (自民)	鉢呂 吉雄 (民進)
理事	舞立 昇治 (自民)	平野 達男 (自民)	谷合 正明 (公明)
理事	舟山 康江 (民進)	藤木 眞也 (自民)	横山 信一 (公明)
理事	紙 智子 (共産)	山田 俊男 (自民)	儀間 光男 (維新)
	磯崎 陽輔 (自民)	小川 勝也 (民進)	森 ゆうこ (希会)
	上月 良祐 (自民)	川田 龍平 (民進)	(29. 11. 30 現在)

## (1) 審議概観

第195回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出1件であり、可決した。また、本委員会に付託された請願はなかった。

### 〔法律案の審査〕

競馬法の一部を改正する法律案は、近年における地方競馬主催者の厳しい事業収支の状況に鑑み、地方競馬の振興等を図るため、地方競馬全国協会の行う業務に必要な資金の確保措置の期限延長を行うおとするものである。委員会では、資金確保措置の期限延長の必要性、競馬場の入場者を増やすための方策、馬産地支援の取組等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

### 〔国政調査〕

12月5日、食料自給率低下の原因及び

食料自給率向上・食料自給力強化の政策を明示する必要性、日EU・EPA及びTPP11における交渉経過の情報開示並びに国内対策の在り方、国家戦略特区ワーキンググループのヒアリングにおける関係者発言の取扱い、コメ海外市場拡大戦略プロジェクトと日本食品海外プロモーションセンター(JFOODO)の役割の違い、水田活用の直接支払交付金の農政上の位置付け及び予算確保の見通し、主要農作物種子法廃止が都道府県の種子計画策定に影響を与える可能性、卸売市場におけるバックマージン等の商慣習を見直す必要性及び受託拒否の禁止原則を維持する必要性、森林環境税の早期導入の必要性、定置網による太平洋クロマグロの未成魚の大量漁獲を防ぐための休漁補償について検討する必要性等について質疑を行った。

## (2) 委員会経過

○平成29年11月30日(木) (第1回)

- 農林水産に関する調査を行うことを決定した。

○平成29年12月5日(火) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 食料自給率目標に関する件、日EU経済連携

協定及びTPP11協定に関する件、国家戦略特別区域における獣医学部の新設に関する件、農林水産業の輸出力強化戦略に関する件、米政策改革に関する件、主要農作物種子法廃止に関する件等について齋藤農林水産大臣、谷合農林水産副大臣、越智内閣府副大臣、磯崎農林水産副大臣、松本内閣府副大臣、上月農林水産大臣政務官、秋本国土交通大臣政務官、宮川文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

進藤金日子君（自民）、舟山康江君（民進）、川田龍平君（民進）、横山信一君（公明）、紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希会）

- 競馬法の一部を改正する法律案(閣法第8号) (衆議院送付) について齋藤農林水産大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成29年12月7日(木) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 競馬法の一部を改正する法律案(閣法第8号) (衆議院送付) について齋藤農林水産大臣、谷合農林水産副大臣、上月農林水産大臣政務官、宮川文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

徳永エリ君（民進）、横山信一君（公明）、紙智子君（共産）、儀間光男君（維新）、森ゆうこ君（希会）

(閣法第8号)

賛成会派 自民、民進、公明、共産、維新、希会

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

- 農林水産に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。